

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、27～31℃台を示し、やや高め～かなり高めの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網—西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の2.8倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週の50%（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年並み）。
- イカ釣——ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり99kgの水揚げで前週の2倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり2.4トンの水揚げで、前週の2.4倍（前年を上回った）。
- 定置網——対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり25kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり228kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり45kgの水揚げで、前週の70%（前年を下回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（8/20～8/24の5日間）沖合イカ釣り船（船凍船）は、能登半島沖、佐渡沖及び山形沖で操業。赤イカは北太平洋に出漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島沖～山形沖にかけて出漁した。

鳥取県西部（沖合船）1日延1隻、総計30箱、ケンサキイカを中心に漁獲、魚体は2～3立半主体。漁場は壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島沖～山形沖に形成された。今期も主漁場は山口沖となった。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第2-21号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>